

ステップ1. 問題とデータの分析

- ❖ このステップの成果物：処理対象のデータの記述
 - ❖ データの記述に沿ってデータの典型例は書けましたか？
- ❖ プログラムの名前は決まりましたか？
 - ❖ 問題の文面を熟読しましたか？
 - ❖ プログラムの処理対象のデータと生成するデータについてきちんと説明できましたか？

ステップ2. ゴールの定式化

- ❖ このステップの成果物
 - ❖ 目的：プログラムが何を計算するのかを簡潔に記述できましたか？
 - ❖ 契約：プログラムの処理対象のデータの性質と、生成するデータの性質を記述できましたか？
 - ❖ 関数ヘッダ：関数のヘッダは完成しましたか？

ステップ3. 例題

- ❖ このステップの成果物
 - ❖ 関数の振舞いの例：与えられた具体的な入力に対する関数の返り値を書けましたか？
(ヒント：ステップ2の目的を見返そう)

ステップ4. 構成

- ❖ このステップの成果物：関数の雛形
 - ❖ (関数の目的は一旦、忘れて)
(データ定義に沿って)
関数のあらましは書きましたか？

ステップ5. プログラミング

- ❖ 成果物：動作するプログラム
 - ❖ よく我慢しました。プログラムを完成していいですよ。
 - ❖ プログラムは完成しましたか？

ステップ6. テスト

- ❖ 成果物：テストとカバレッジ
 - ❖ ステップ3の例題についてできあがったプログラムをテストしましたか？間違いを見つけたらプログラムを修正しましょう。
 - ❖ テストが失敗したとき、(1) 例題が間違っている可能性と(2) プログラムが間違っている可能性の両面から検討しましょう。